

# 世代別応援プログラムの活用について

## 1 プログラムについて

(1) このプログラムは、参加型学習の手法を用いて、参加者同士で話し合ったり、交流をしたりしながら、保護者としての役割やこどもとの関わり方、地域の親子の支援の仕方についての気付きやヒントを得ることをねらいとしています。

世代別に分類していますが、こどもの実態や目的に応じて活用してください。

(2) 参加型学習のポイントとして、少人数で実施することにより、一人ひとりが参加、発言しやすく、お互いの意見を尊重して聞き、秘密が守られることが重要です。そのポイントは以下のとおりです。

ファシリテーター	参加者の積極的な参加を促し、参加者同士のコミュニケーションが円滑に行われる環境をつくる、プログラムのルールやマナーを確認する「進行役」のこと。
アイスブレイキング	プログラム実施の前に、簡単なゲームやワークをとおして、体を動かしたり、おしゃべりをしたりしながら初対面であっても、それぞれの参加者の緊張を解きほぐします。
ルールとマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加：一人ひとりが主役です。 積極的に参加しましょう。</li> <li>○尊重：お互いの考えや感じ方を尊重しましょう。 一人で話しすぎない。相手を否定しない。 反応はいつもの3割増して参加しましょう。</li> <li>○守秘：ココだけの話にします。 話合いの中で知った参加者の情報は、もち帰らない。</li> </ul> <p style="text-align: center;">☆ 学んだことはお土産に!!</p>

## 2 プログラムの基本的なすすめ方

プログラムの基本的な流れは「①導入②展開③ふりかえり」です。以下を参考に、ファシリテーターを中心に参加者と一体となり、活動してください。

① 導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) アイスブレイキング：活動の前に、参加者の緊張をほぐしと、グループ分けを行う。</li> <li>(2) テーマ・内容の確認：参加者の実態やプログラムのねらいに応じてアレンジする。</li> <li>(3) ルールの確認：①参加②尊重③守秘について確認する。</li> </ul>
② 展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 話題提示：ファシリテーターは、ファシリテーター用シート等から話題を提示する。</li> <li>(2) 各自の意見：参加者は、自分の意見をワークシートに記入する。</li> <li>(3) 意見交換：各自の意見を発表し、意見交換や共同作業をしながら、グループの意見をまとめる。</li> <li>(4) グループ発表：各グループの代表が意見等を発表する。</li> </ul>
③ ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ふりかえり：プログラムをとおして思ったこと等をワークシートに記入し、これまでの自分を見つめ直す。</li> <li>(2) まとめ：感想発表やテーマに沿った資料紹介等を行う。</li> <li>(3) ルールの確認：①参加②尊重③守秘について、再度確認する。</li> </ul>

☆ 世代別応援プログラムをとおして、新しい気付きや発見、保護者同士のつながりを見つけてみませんか。